

今週の見頃写真

10月21日編集

有峰も日一日と日が短くなり、朝は6時にならないと夜が明けず、日没後は黒に同化していきます。10月に入ると有峰も昼夜の温度差・寒暖差が増し、10月中旬以降最低気温も一桁台で推移し、18日は0.5℃まで低下しました。この寒暖差に乗じ、有峰ダム周辺も紅葉の見頃を迎えつつあります。先週の見頃写真では、折立線折立登山口と小口川線祐延ダム周辺の紅葉情報を提供しました。10月17日、薬師岳が初冠雪しました。

今週は紅葉情報や冠雪した薬師岳の山容、有峰ダム周辺の風景等を中心に有峰の今を情報提供します。

○薬師岳近影



初冠雪の薬師岳を眺望

(10/18 17:00 有峰ハウス前駐車場より撮影)



夕映えの薬師岳を眺望

(10/19 17:00 猪根平テニスコート広場より撮影)



ビジターセンター前駐車場より薬師岳を眺望

(10/21 8:00 撮影)

○猪根平近影



ヤマモミジ越しに有峰ハウスを眺望

(10/20 折立線より撮影)



ウワミズザクラ越しに猪根山を眺望

(10/20 折立線より撮影)



盆地霧が発生している早朝の猪根平
(10/20 6:00 ビジターセンター前より撮影)



盆地霧が消失し始めた猪根平
(10/20 8:00 ビジターセンター前より撮影)



ビジターセンター前駐車場より猪根山を眺望
(10/21 8:00 撮影)

○有峰湖近影



盆地霧が発生している早朝の有峰湖
(10/20 6:15 有峰湖展望園地より撮影)



小見線より有峰湖と陸続きになった宝来島を眺望
(10/20 8:00 小見線より撮影)



小見線より陸続きになった宝来島を眺望
(10/20 8:30 小見線より撮影)



小見線より陸続きになった宝来島を眺望
(10/21 8:15 小見線より撮影)



(10/20 8:15 小見線より撮影)

○ビジターセンター



ビジターセンターより猪根山を眺望
(10/20 8:00 小見線より撮影)

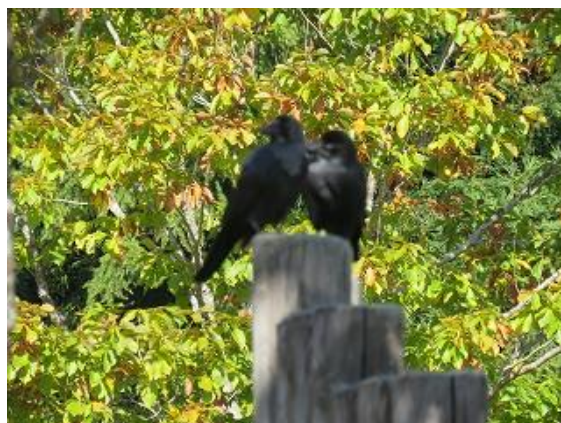
○動物編

○ハシブトガラス

有峰猪根平の住人となっています。猪根平自由広場
一帯を採食場とし早朝から夕方5時過ぎまで活動し
ています。有峰での主な食料は、野生の昆虫類（バ
ッタ類、蛾類の成虫）、両生類（カエルなど）、爬虫
類（ヘビ類）などのようです。猪根平ではニホンザ
ルと共棲しています。



ニホンザルに追い回されて飛び立ったハシブトガラス
(自由広場にて 10/20 撮影)



ハシブトガラスのつがい (自由広場にて 10/20 撮影)
このハシブトガラスのつがいの生態を観察中



ニホンザルとハシブトガラス (自由広場にて 10/20 撮影)

○ニホンザル

9月程出没頻度は高率ではありませんが、この猪根平自由広場にニホンザルの群れが往来しています。やはりその主要目的は食事です。マメ科のシロツメクサやアカツメクサの葉やイネ科のシマスズメノヒエの穂などを捕食しています。



シマスズメノヒエ捕食中のニホンザル
(自由広場にて 10/20 撮影)



餌探しするニホンザルのリーダー
(自由広場にて 10/20 撮影)



シロツメクサを捕食中のリーダー

(自由広場にて 10/20 撮影)



ニホンザルとの間で餌（バッタ類）を捕食中のハシブトガラス
(10/20 自由広場にて撮影)

○昆虫編

○クサギカメムシ（カメムシ科）

クサギカメムシはクサギやミズキなどに寄生するカメムシ科の昆虫です。晩秋 10月下旬小春日和の屋下がり越冬場所を求めビジターセンターにも飛来します。10月20日小春日和に誘われ、飛来したクサギカメムシを撮影しました。この日、指導員霜鳥は、カメムシ類の生態調査のためビジターセンターを訪問された渡辺護氏とこの時期越冬のために飛来するクサギカメムシやスコットカメムシはじめ、カメムシ類の生態（飛来情報他）について情報交換しました。

今後当館におけるクサギカメムシやスコットカメムシなどのカメムシ類の飛来状況調査を継続していく予定です。



ビジターセンターに飛来したクサギカメムシ
(ビジターセンターにて 10/20 13:00 撮影)